

柏市で

①高校2年の松村さつきさん(16)の「自家栽培」
②中学3年の酒井耕平君(14)の「スパイダー」



「足のよくな木」を撮影する中学2年の山本和博君(12)

「世界遺産」ではなく「世間遺産」を探そう、という試みがある。カメラを手に、街で大切にしたいものや風景を発見する旅に出るのだ。障害者などを支援する奈良市の「たんぼほの家」が始めた活動。関東では初めて開かれたワークショップをその一...

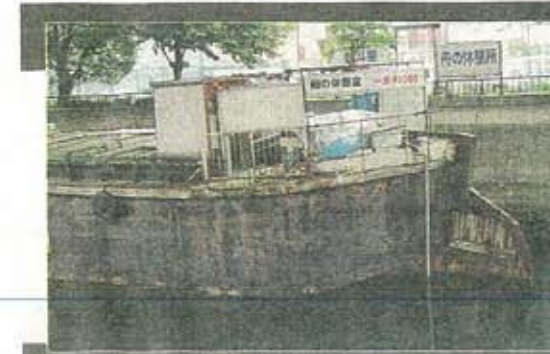
「世間遺産」を写せ



①写真を撮りながら「発見メモ」を書く＝柏市で
②天野講師等に相談しながら写真を選ぶ参加者。中央は森下事務局長＝横浜市南区で

「この風景100年残したい」

と天野講師に相談する子どももいる。天野さんは「ここで悩んだり、自問自答するのが大事なんです」と話す。最後は選んだ写真を発開し、皆で共有できる。松戸市の高校2年松村さつきさん(16)は「風景がいつもと違つていて面白かった。またやりたい」と話した。翌八日、横浜市南区の「中村地域ケアプラザ」で行われたワークショップには、同地域の小中学生と父母ら十三人が参加。学校や寺、街並みなどを見直せばいい。写真を撮影して回った。「世間遺産」プロジェクトが始まったのは四年前。和歌山県の熊野古道が世界遺産に認定された時、「たんぼほの家」スタッフの「世界遺産も大事だけど、もっと身近で大事なこともあるよね」という意見から始まった。紙面構成・佐野貴晴



横浜市で

③小学3年鈴木琴音さん(8)の「さかみちのどちゅう」
④会社員黒部暢康さん(40)の「船の休憩」

